

台東区における観光バスの現状

●背景

東京スカイツリーの開業等により、浅草地域における観光バスは増加傾向にある。今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、さらに観光バスの流入台数が増える予測があり、訪日外国人が増加している中、早急に対策を講じる必要がある。

●課題

- 区が設置している観光バス駐車場は特にピーク時において必要台数を満たしていないため、近隣の道路への違法駐車が行われている。
- 区が設置した二天門通りの乗降場所は観光バスが集中し、近隣に小学校があり、通学路となっているため、交通安全上問題となっている。乗降場所の混雑により、周辺の道路において路上に駐車をしたり、乗降・待機を行っている観光バスが発生し、歩行者の安全や一般交通に影響が出ている。



解決に向けた
視点

- ①新たな駐車場の整備・確保
- ②集中する乗降場所の負荷軽減
(乗降場所の増設)
- ③乗降・待機に関する仕組みづくり
(観光バスのコントロール)